Press Release

一般社団法人
九州経済連合会
Kyushu Economic Federation

2026 年 6 月 15 日

福岡金融・経済記者クラブ　各位

一般社団法人 九州経済連合会

福岡県への本会提言書手交について

本会の筑後地域委員会ワンヘルスプロジェクトにて取りまとめた提言につきまして、下記の通り手交いたしますのでご案内申し上げます。

記

１．日　　時　　2026 年 6 月 16 日（火）　10 時 15 分から 11 時 20 分

２．手 交 先　　福岡県知事　　服部　誠太郎 氏

福岡県議会議長　　藏内　勇夫 氏

３．提言事項

「『ワンヘルス』を核とした筑後地域の産業活性化に向けた提言」

※主な提言事項については別紙参照

４．手 交 者

（株）筑邦銀行　代表取締役会長　佐藤 清一郎（筑後地域委員会 委員長）

（株）中村製紙所　代表取締役社長　中村 健一（ワンヘルスプロジェクト 座長）

（一社）九州経済連合会　顧問　堀江 広重

５．会　　場

・県知事提言：福岡県庁　特別会議室

・議長提言：議会棟　議長室

６．手交スケジュール

10:15-10:35　藏内議長へ手交

11:00-11:20　服部知事へ手交

※終了時間は最大 10 分程度延長可能性あり

【お問い合わせ先】九州経済連合会　地域共創部　平江（TEL：092-791-4268）

以上

（別紙）

提言：『ワンヘルス』を核とした筑後地域の産業活性化に向けて（骨子）

第Ⅰ章　：　筑後地域の産業構造と発展の可能性

・筑後地域の次世代成長エンジンとなる戦略産業を育成し、地域の稼ぐ力を伸ばす

・生産性向上のため、労働集約型産業から知識集約型産業への転換を図る

・域外からの投資誘致や域内投資を促すための環境を整備する

・人口減少・人手不足に備え、今のうちから時代の産業人材を育成・誘致する

第Ⅱ章　：　筑後地域におけるワンヘルス産業化のポテンシャル

・福岡県は「ワンヘルス」（人と動物の健康、環境の健全性）を重要政策として掲げ推進

・みやま市に全国初の人・動物・環境一体型研究拠点「ワンヘルスセンター」が設置予定

・ワンヘルス関連産業のすそ野は広く、筑後地域は農業、バイオ、食品加工、伝統産業等、関連する産業のポテンシャルが大きい

・筑後地域の企業においても多様なワンヘルスへの関与・取組イメージあり
（例）オーレック：有機農業先進地を目指す福岡ワンヘルスの取組み案
中村園　　：予防医療充実に資する生薬生産拠点・研究拠点の構築

第Ⅲ章　：　提言　（提出予定先：福岡県）

・ワンヘルス政策を推進する「福岡県」、分野横断的なワンヘルスモジュール体制を構築し産官学連携の中核となる機能を有する「九州大学」、及び国の政策と連携を取りながら九州における共創のハブ機能を発揮する「九経連」の密接な連携による「ワンヘルスを核とした新産業創出に向けた推進主体（プラットフォーム）」の設置を提言する。

・上記プラットフォームの活動に関し、みやま市に設置される「ワンヘルスセンター」に「ワンヘルス」にかかる専門的知見や技術に関する産官学の交流拠点を設ける。また民間企業・大学等を含む多様な組み合わせによるインキュベーション機能を持つことにより、「ワンヘルス」の産業化を効率的に推進することができる。

・上記プラットフォームにおける最初の検討テーマとして、有機農業のための土中微生物環境改善の研究・実証及び農法の開発により有機農業先進地を目指す取組みを提案する。

以　上